

平成31年第1回

伊根町議会定例会会議録

平成31年3月14日（第2号）

伊 根 町 議 会

平成31年第1回（定例会）

伊根町議会 会議録（第2号）

招集年月日	平成31年 3月14日 木曜日						
招集場所	伊根町コミュニティセンター ほっと館 ふれあいホール						
開閉の日時 及び宣告者	開会	平成31年 3月14日 9時28分			議長	上辻 亨	
	閉会	平成31年 3月14日 11時52分			議長	上辻 亨	
応（不応）招 議員及び 出席並びに 欠席議員	議席番号	氏名	出欠	議席番号	氏名	出欠	出席 9名 欠席 0名
	1	松山 義宗	○	6	大谷 功	○	
	2	佐戸 仁志	○	7	和田 義清	○	
	3	長谷川 貴之	○	8	濱野 茂樹	○	
	4	中嶋 章	○	9	上辻 亨	○	
5	山根 朝子	○	10				
地方自治法 第121条 の規定によ り説明のた め出席した 者の職氏名	職	氏名	出欠	職	氏名	出欠	出席 10名 欠席 0名
	町長	吉本 秀樹	○	住民生活課長	石野 靖	○	
	副町長	上山 富夫	○	保健福祉課長	須川 清広	○	
	教育長	石野 渡	○	地域整備課長	白須 剛	○	
	総務課長	鍵 良平	○	教育次長	梅崎 良	○	
企画観光課長	千賀 和孝	○	会計管理者	増井 和彦	○		
職務のため 出席した者 の職氏名	議 会 事務局長	倉 正人	○	主 事	池野 早紀子	○	
会 議 録 署名議員	2番	佐戸 仁志		5番	山根 朝子		
議 事 日 程	別紙のとおり						
会 議 に 付 した 事 件	別紙のとおり						
会 議 の 経 過	別紙のとおり						

平成31年 第1回 伊根町議会定例会

議事日程 (第2号)

平成31年3月14日(木)

午前 9時30分 開議

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第 4号 平成31年度伊根町一般会計予算
- 日程第 3 議案第 5号 平成31年度伊根町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 4 議案第 6号 平成31年度伊根町簡易水道特別会計予算
- 日程第 5 議案第 7号 平成31年度伊根町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第 8号 平成31年度伊根町財産区特別会計予算
- 日程第 7 議案第 9号 平成31年度伊根町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第10号 平成31年度伊根町訪問看護事業特別会計予算
- 日程第 9 議案第11号 平成31年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算

会議に付した事件

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 議案第 4 号 平成 3 1 年度伊根町一般会計予算
- 日程第 3 議案第 5 号 平成 3 1 年度伊根町国民健康保険特別会計予算
- 日程第 4 議案第 6 号 平成 3 1 年度伊根町簡易水道特別会計予算
- 日程第 5 議案第 7 号 平成 3 1 年度伊根町下水道事業特別会計予算
- 日程第 6 議案第 8 号 平成 3 1 年度伊根町財産区特別会計予算
- 日程第 7 議案第 9 号 平成 3 1 年度伊根町介護保険特別会計予算
- 日程第 8 議案第 1 0 号 平成 3 1 年度伊根町訪問看護事業特別会計予算
- 日程第 9 議案第 1 1 号 平成 3 1 年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算

会 議 の 経 過

平成31年3月14日(木)
午 前 9時28分 開議

◎ 開会・開議の宣言

○議長(上辻 亨君) 皆さん、おはようございます。本日はご苦労さまです。

3月12日に、全員協議会で、平成31年度の当初予算の説明が各担当課長によりありました。本日は、活発な質疑と議事進行ができますようよろしくお願いいたします。

ただいまの出席議員は全員です。

これより直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりです。

◎ 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長(上辻 亨君) 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定によって、議長において

2番、佐 戸 議員

5番、山 根 議員を指名します。

以上の両議員に差し支えのある場合は、次の号数の議席の議員にお願いいたします。

◎ 日程第2 議案第4号

○議長(上辻 亨君) 日程第2、議案第4号 平成31年度伊根町一般会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は、慣例により、歳入全般を一区切り、歳出の1款議会費から4款衛生費までを一区切り、5款労働費から8款土木費までを一区切り、9款消防費から14款予備費までを一区切り、合計4区切りとして行いますので、よろしくお願いいたします。

また、十分審議を尽くせるよう、平成31年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないこととしたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長(上辻 亨君) 異議なしと認めます。平成31年度全会計予算議案の質疑の回数は、事情が許す限り制限しないことを決定しました。十分な審議が尽くされることを期待します。

休憩します。

休憩 9時30分

再開 9時33分

○議長(上辻 亨君) 再開いたします。

初めに、一般会計予算の歳入全般を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。6番、大谷議員。

○6番(大谷 功君) 19ページの12款分担金及び負担金の2項負担金、保育所運営負担金94万3,000円ですが、これは、ゼロ歳から3歳までの第2子以降半額、第3子無料をした分の園児の負担金でしょうか。

○議長(上辻 亨君) 須川課長。

○保健福祉課長(須川清広君) 保育所管理運営費の件ですけれども、3歳以上は無料化ということですので、保育所で受け入れております1、2歳児の第2子半額と第1子分の歳入を見込んでおります。

○議長(上辻 亨君) 6番、大谷議員。

○6番(大谷 功君) そしたら、現在のところ、保育所の入所の定員に対する充足率、それから待機児童がいるかないかというのがわかれば教えてください。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 伊根保育園につきましては、本庄保育所もですけれども、定員は45名となっております。伊根保育園につきましては、現在申し込みを受けて許可しているのが42名ということになっています。本庄保育所については10名ということで、若干の伊根保育園については余裕があるということで、待機のほうは現在のところは出ておりません。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、歳出1款議会費から4款衛生費を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 本予算書の39ページで、1款総務費 1項総務管理費の職員研修費のところ、業務委託で86万4,000円、人事評価システム講師代というふうにお聞きしておりますけれども、これは大体何回ぐらいの実施予定で、どのような方が講師を務めておられるのか教えていただければ、お願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 業務委託費の主な内容でございますが、今のところ、これまでの実績では、コンサルティング会社の講師派遣を受けまして、3回から4回の研修を行っております。その主な内容につきましては、目標設定の指導の研修でありますとか、それぞれの評価者の評価がばらばらにならないように基準を合わせる評価の研修でありますとか、実際に評価の傾向を分析していただいて、それを修正していく。より平準化、誰がやっても同じ評価ができるような方向になっていく研修、こういったものをさせていただいております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 69ページの社会福祉推進事業の19番補助金です。住民参加の地域福祉推進事業補助金で116万5,000円出ていますが、説明では、ふれあい弁当のほうは31年度から中止になったので去年よりも少なくなっていますという説明があったと思います。そしたら、すみませんが、この事業の補助金は、ほかにはどのようなものがありますか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 社協につきましては、ふれあいサロンとか男性サロン、あとボランティア交流会、また講座の開催経費等が行われております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。3番、長谷川議員。

○3番（長谷川貴之君） 93ページの下のほうにあります合併処理浄化槽設置補助金330万5,000円ですが、当町の農村地域におきましては、下水処理が進んでおらず、また移住者もふえつつあります中で、環境や衛生面を見ましても、補助金のあり方や設置の推進を図るべきと思います。浄化槽の設置補助金というのは、年間どれぐらいのものが設置されているのか、その辺をお聞かせいただきたいです。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） ただいまのご質問、他の下水処理が進まない中での合併浄化槽の推進の質問かと思っております。近年といたしまして、特に大きなばらつきがあるわけでもなく、近年に限らずですが、3軒から5軒が、大体個人さんが設置されて補助申請がある軒数と見込んでおります。それに見合った、実績見合いで5軒分を予算に計上しており、その執行になります。近年5軒を超えるような申請もないわけですので、この軒数で予算計上しておれば、住民さんからの要望にはお応えできるかなと思っております。

以上です。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） 40、41ページなんですけれども、防災行政無線についてです。これはいつぐらいの実施予定なのかということをお聞きしたいのと、それから、48、49ページ、滞在型体験観光まちづくり、これのクリーニングというのが100万円というふうになっているんです

けれども、ちなみに教育委員会のほうの筒川文化センターで言いますと、クリーニング代が4万円なんです。100万円というのがどうやって出たものなのか。どこと契約をされて、その契約の内容が未来永劫ずっと続いていくものなのかということが知りたい。それと、この中の委託費の650万円、これにつきましても、筒川文化センターですと80万円ぐらい見込んでいるところがありまして、650万円というのはどういう根拠で出たものなのかということをお伺いしたいと。

それから、再生エネルギーにつきましても、この経緯、どうしてそういうことをやろうという、予算に計上されたのか。町長の所信表明の中にもありましたけれども、改めてその経緯と、ほとんどが補助金だと思うんですけども、その中の調査費がまた1,600万円という。これが果たして地元で調査するものではなくて、多分いただいた補助金をまた東京のほうにお返しするというパターンになるのかなと思うんですけども、住民あるいは町民にとって利益になるかどうかということも含めて、ちょっとお聞かせ願いたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） まず、防災アプリの実施スケジュールでございますが、現在実施をいただく事業者の募集をやっておりまして、事業者を4月上旬には決定したいと思っております。業者が決まりますと、5月末のめどとしております補助金申請に向けた準備を開始いたしまして、アプリの開発をその後進めていく予定となっております。タブレットの調達、それからサーバーの調達等を行いまして、住民の方にタブレットを実際配布するのは12月末ごろになると思います。それから、1月から3月期間を現状の防災無線との並行期間として、実証実験といいますか、実際のものとして現在の防災無線と並行期間で運用を行いまして、最終的な調整を行った上、本格的な運用開始は平成32年4月からとなると考えております。

それから、滞在型まちづくり事業のクリーニング代ですけども、今回は、リネンではなしにクリーニングでシーツ等を清掃したいと思っております。筒川文化センターのほうはリネンという処理をされていますので、ちょっと方法が違うのかなと思っております。

それから、委託費の算出根拠につきましては、今回受付と清掃の業務、そして帳場の案内から施設への案内ということも行っていただく予定としておりまして、宿泊料の30%を観光協会にお支払いする予定しております。それと、固定費としまして、1施設当たり10万円の定額と変動費30%ということで計算をしております。

それから、再生可能エネルギーの経緯につきましては、伊根町のほうでいろんなまちの課題があるというふうに認識しておる中で、特にモビリティの関係とかそういうところを改善していく手法の一つとして、エネルギーを利用したもので何かできないかという中で、10分の10の補助金の採択をいただいた中で、地域課題の解決に向けた、何か取り組めるものがないかということを探りたいというところがございます。実際調査を行った上で、エネルギー利用ができないという結論になることもあるかもしれませんが、地域の課題解決に向けて、何かエネルギーを利用して取り組むことを考えたいということで、この事業の提案に至ったというところです。

住民の利益につながるかというところがございますが、それは、町がやることですので、必ず住民の利益につながることをやっていきたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） 1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） クリーニングについては、リネンという方式をとらなかったということなんですけれども、100万円は高いと思いませんか。どういう方式で決められたのか。ですから、例えば近辺の業者さんに対して見積もりをとられたのか。結局、誰がやってこんなにかかるという、見積もりというか積算の根拠みたいなものがありますか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 積算根拠につきましては、バスタオル、フェイスタオル、シーツ、それからピローケース等を出す予定にしておりまして、お1人当たり2,000円ぐらいクリーニング代が必要になるというふうに計算をしております。それに、実際宿泊いただく稼働率28%、42%を算出いたしまして、年間の積算としますと、2施設分で102万円ということになります。相手方については、まだ契約しておるわけではございませんので、どこという決定はしておりませ

ん。

○議長（上辻 亨君） 1番、松山議員。

○1番（松山義宗君） ありがとうございます。

以上です。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） すみません、関連質問で、先ほどの再生可能エネルギー、事前に採択されたら実施する予定で、採択されなければ実施はしない予定というふうにお聞きしていますけれども、採択される時期がわかれば、大体いつぐらいか、わかればお示してください。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 採択の時期としましては、3月末ごろとお伺いしております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 先ほどの質問で、単純にリネンとクリーニングの違いが私でもわからなかったもので、プロポーザルといいますかホームページのほうで募集内容なんかも載っていましたので、大体このぐらいの金額はかかるだろうなということはもう私は了解しますし、おかしなことではないと、金額的に申してもと思うんですけども、システム手数料は恐らく10%ぐらいかかりますよね。そのあと、20%が掃除と宿への案内に係る費用だと。これがモデルになるわけなので、大体そのぐらいで、20%の範囲内で掃除とかそういったものを請け負うところが、観光協会がしていただけるということによろしいのでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 積算をしております、必要経費をお支払いした上で観光協会にも利益が残るという率で30%を算出しております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 新たに雇用が生まれることにもなるかというふうに思うので、少し期待したいなというふうに思います。

防災無線に関しては、1月から3月までが併用して運用するという理解でいいのか、それとも、もう3月が終わった時点で、問題なければ、今の防災無線については全て切るという考えで進められるのか、その辺についてお願いします。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 1月から3月に並行処理期間をおきまして、問題がなければ、現在の防災無線の運用は、その時点で中止ということになります。無線免許の関係もございますので、その時期で問題なければ停止いたします。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 屋外無線も、そこでストップという理解でよろしいんですか。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 屋外スピーカーの関係ですね。ちょっと私のほうから、実は屋外スピーカーの廃止につきましては、まだはっきりした結論が出ておりませんので、地元の方々、地域住民の方のご意見もお伺いしたいというふうに考えております。現在の整備を進めていく中で、並行して地域の方々のご意見もお伺いする機会を設けて、地域の方々がどのように考えておられるのかを反映させていける形をとりたいなというふうに考えております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） ありがとうございます。これで、安心してテスト運用のほうも見守りたいと思いますし、楽しみにしておきたいというふうに思います。

37ページの職員研修費、これについて、職員研修の費用が18万円ぐらい今年度は減っているわけなんです、これは、以前から、課長に上がったときであったりとか主査に上がったときとかそういうときのステップアップ研修なんかが含まれていたというふうに理解しているんですけども、単純に今回そういった該当する方が減るので予算的にも減ったという理解でいいのか、お願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） ただいま濱野議員からご指摘のありましたステップアップのタイミングということで、ご指摘のありました課長研修あるいは新規採用職員研修、5年目ですとか節目の研修、ここに当たる人間がたまたま少ない年であって、少なく見積もったというところがございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） 99ページの宮津市清掃工場管理運営費、清掃工場改修工事の件なんです、基本的なことをお伺いしたいんですが、私の認識では、加悦にありました与謝郡の可燃物処理場が壊れて、宮津市のほうへ、燃やさせていただいているというふうに認識をしております。この予算を見ますと、管理運営費と工場の改修工事が予算に入っていますが、この辺の基本的なことをお聞かせ願いたいと思います。伊根町も運営にかかわっているのかどうか。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 99ページの可燃ごみ処理対策事業ですが、予算説明のときにも、ざっとこの事業はこんなことをする程度ですので、もう少し、若干の予算がありますので説明させていただきますと、13、可燃ごみ収集業務というのが今現在ふるさと振興公社の方をお願いして収集運搬していただいております。可燃ごみ処理業務という1、225万4、000円が、清掃工場に処理に係る費用になります。業務を委託しておりますので、どちらも委託料に上がっております。あと、大きなものとして、負担金の中に宮津市清掃工場管理運営費14万1、000円と宮津市清掃工場改修工事113万5、000円があります。上段の14万1、000円につきましては、清掃工場を設置している地域への支援に係る負担金でございます。

最後の改修工事の負担ですが、以前でしたら、これはごみ処理に係るもの一括で上がっておったんですが、施設はどうしても可燃施設ですので、施設内の耐火に応じて施設の改修がほぼ毎年かかっております。これを委託料一本で上げておきますと、財源手当て的なことができない。財源とは何ぞやといわれますと、いわゆる起債、町債、伊根町の場合でしたら過疎債であったりになるんですが、そういったものを見るためには、工事として明らかにしなければならない。その工事に係るものを、宮津市以外でする場合でしたら、負担する格好になれば起債の対象になるということで、こういった計上にさせていただいております。確かに、旧加悦町にありました与謝クリーンセンターの兼ね合いで、最終宮津市のほうで1市2町のこういった可燃のごみは処理していただいておりますので、当然施設改修に係る分も、それぞれごみの処理だけではなく、施設を使っている団体も負担すべきという考え方から、こういった予算計上にさせていただいております。

以上です。

○議長（上辻 亨君） 2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） この14万1、000円、波路区にお払いするお金だと思いますし、工事改修費の113万円は、どのような算出で出されているのか。ごみ割、人口割、平均割というか同じ金額を払うとか、その辺をお聞かせ願いたい。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） おおむねは人口割になってくるんですが、結果人口割であっても人口から出るごみの量はほぼ変わりありませんので、人口であってもごみ量であっても、おおむね本町は5%というところになっております。

○議長（上辻 亨君） 2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） 一番の核心に触れたいと思うんですが、32年4月に今建設中の処理場が稼働するとお聞きしております。稼働が始まった後は、宮津の処理工場を波路区に返すということが始まると思うんですが、この解体にも伊根町が分担金を払わなければいけないのかどうか、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） まず、先ほどの説明の中で、改修工事の負担金につきましては均等割が含まれておることを申し忘れましたので、追加で説明させていただきます。

ただいまの質問の、32年4月から新工場が稼働となって、古い工場はどうするのかという質問かと思っております。本予算は31年度の予算ですので、32年度のことを申し上げるのはどうかとは思

います。あわせて、宮津市側からまだ何の相談も、調整もありませんので、担当課長としては、この答弁しかないかなと思っております。

以上です。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 83ページの児童虐待防止対策事業です。これ、今マスコミでも児童虐待がクローズアップされていますが、町の具体的な事業としては、どのようなものをされているのかと、それから、今国会で予算審議されているんですけれども、児童虐待防止策として、市町村の体制強化として、子ども家庭総合支援拠点を設置することとか、また関係機関の連絡調整を行う常勤勤務員を配置することというふうなこともちょっと言われているようです。そのための予算というのは、地方交付税措置を講じる予定だというふうになっているみたいなんですけど、そのようなことの対策というの、町では考えておられますか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） まず、最初に児童虐待防止対策事業の内容でございますけれども、伊根町で要保護児童対策協議会というのを設けておまして、その運営の経費でございます。会議の運営と、それに係る出張旅費、あと活動車両を1台持っていますので、その運営費の予算となっています。あと、拠点の整備と常勤の関係なんですけれども、現在のところ、伊根町ではそのようなことは考えておりません。要保護児童の関係で権限のほうが委譲されてきておまして、要対協のほうで軽微な相談は受け付けるようにということで、これまででしたら児童相談所が全部担当しておったんですけれども、児童相談所については重篤な案件、市町村につきまちは軽微な案件を管理するというので、管理のほうは要対協のほうで行っているような状況でございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 予算書の51ページの交通安全対策費のところでお聞きしたいんですけれども、免許の自主返納の支援物品ということで昨年より5万円アップで予算が組まれて、20万円ですけれども、大体近年の算出根拠というのは、自主返納された方々の平均みたいなものをもってこういう算出根拠としておられるんですか。その辺をちょっとお聞かせ願いたいんですが。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） すみません、お待たせしました。ただいまご質問いただきました交通安全対策費の免許証自主返納支援物品でございますが、今一番多く希望されておられますのは、路線バスの回数券1万円分が多ございましていいですか、ほとんどこれを希望されておられます。この方々が、前年ですと15名程度だったと思います。その前の年が10名と少しぐらいで、少しずつ今ふえてきております。今年度予算につきまちは20名分を見込ませていただきたいということでございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 防災無線事業なんですけれども、業務委託費が6,500万円となっておりますけれども、10割の補助金で事業をされると。今後毎年同じような業務委託の金額が発生するのか。持続可能な今後安定的なシステムにするのに、かなりの高額の委託料なので、この辺はどういうふうに理解したらいいでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 今年度予算計上させていただいております6,500万円の委託料については、新しくシステムを開発する費用がほとんどでございます。年間の運用費につきましては、2月の臨時議会でもご説明させていただいたんですが、約1,000万円程度を見込んでおります。今後につきましても、運営費は1,000万円が見込みということで、6,500万円は開発に係る31年度のみということでございます。

○議長（上辻 亨君） 4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 今現在の維持管理料と比べて、かなり負担は軽減するというふうに考えていいんですか。同じようなそういう管理料という形になるんでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 現在の防災無線の維持管理には、年間約450万円程度がかかっております。新しく防災タブレット、アプリにつきましては、通信に係る費用を負担するということから1,000万円程度を見込んでいるということでございまして、運用費については、現在より若干ふえるというふうに見込んでおります。

○議長（上辻 亨君） 4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） インターネットは、各家庭にもうほとんど導入されていると思うんですけども、それを、また新たに別個に通信のほうを町が負担すると。今使えるんでしたら兼用というか各家庭の同じ環境で使っていただいて、携帯電話とかパソコンとか、そういうインターネットの導入されていないところは負担せざるを得ないと思うんですけども、それは無理でしょうか。この間の説明では、セキュリティーの問題でなかなか難しいところとかは聞いたんですけども、そういうやり方でしたら少しでも経費が抑えられるんじゃないかと思うんですけども、その辺はいかがですか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 議員がおっしゃられるとおり、個人さんの契約されておられますインターネット回線を使わせていただければ、当然町が負担する回線料が安くなる、それはそのとおりでございます。ただ、その場合ですけれども、防災無線という性格上、町が責任を持って防災情報をお届けするということが必要になると考えておりまして、例えば個人さんのお持ちになっておられるルーターが何らかの理由により故障していたとかいうことによって、情報が伝わらないという発生が起きてしまっただけという観点から、今回につきましては、当初全家庭分の通信料を町が負担して整備をしたいと考えております。今後運用していく中で、議員おっしゃられましたとおり、個人の契約しておられます電波、回線をもって運用していくことが可能となってくれば、運用の中で見直していける問題だと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありますか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 社会福祉費で、予算書71ページの災害時の要配慮者支援事業についてお聞きいたします。災害時の在宅者の方々に、例えば必要な方のために酸素ボンベを、見舞金を財源にして10割の補助で予定というふうの説明のほうではお聞きしました。それは、大体1台幾らぐらいのもので何台ぐらい購入予定なのかということと、災害時なので、停電のことも考えて、停電とかのときでもこれはまず大丈夫なものなのかということと、対象者が町内にいるのかどうかというのが、いれば何人ぐらいいらっしゃるのかというのが、できればお示し願いたいんですが。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 災害時の関係なんですけれども、これにつきましては、酸素ボンベ等で吸入が必要な方ということで、対象者は一応3名でございます。停電対策ということですので、対象も、酸素ボンベだけではなく、モバイルバッテリーとか発電機等も中には含まれるのかなということを考えておりますけれども、まだ詳細については決定していないので、対象としては、そのようなものが対象となるというふうに考えております。

○議長（上辻 亨君） 和田議員、よろしいですか。ほかに質疑はありますか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 防災タブレットは、命を守るためにも電波を使うのは当たり前のごとでございますので、今後そういった形で、運用の中で形態が変わっていくというのも、当然今のご時世から考えると当たり前のことでございます。2月議会の同じような内容を今日質問しているような感じがして、その辺についてちょっと配慮のほうをいただきたいなと思うんですが、47ページの地方バス路線維持補助金、こちらについて質問したいと思います。インバウンドの利用者が、伊根バス、伊根町から天橋立方面に向けるバスが非常に多くなってきました。乗車の割合的にもインバウンドの方がかなり多いのかなというふうに思います。また、本年10月には消費増税も検討されておりますが、料金は据え置きされるということなんですが、例えば乗客を、インバウンドの方については、200円200円の400円ではなく引き上げるというような形というのはできないのかなというふうに単純に思うんですが、そのあたりについてお願いできますでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 10月の消費増税のときのバス料金につきましては、最終決定は

事業者さんが行われることとなります。それに向けまして、年度が始まった段階で、沿線の2市2町でいろんな協議が行われると思うんですけども、議員おっしゃられましたとおり、料金自体は上げてしまって、住民には格安の回数券等を配布するとか購入できる体制を整えるとか、そういうことも方策の一つではあるかと思いますが、最終決定は、あくまで事業者さんが決めることということとっております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） ぜひ事業者さんには、そういった話もあったということは町のほうからもお願いしたいというふうに思います。また、料金というか支払い方法なんですけれども、今もう電子マネーとかQRコード決済とかそういった話が出ております。その辺についても、事業者さんに、例えば丹海バスの中にQRコードを置いておいて、それを降りるときにはぼちっとすると、そういったことの利便性の向上なんかもあわせてお願いしていただきたいなと思います。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） ありがとうございます。近隣の市町と、そのあたりも含めて、事業者さん含めて、提案なり協議をさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 若干補足をさせてもらおうと、結局この低料金バス、200円200円バス、うちだけじゃなくて、与謝野町もあって宮津市もあって京丹後市もある。ですから、それは丹海さんが一手にやっております。その2市2町と丹海さん、みんなで話し合う必要があるかと思いません。ちなみに、この前の2市2町の首長会議のときには、私は値上げせいと提案したんです。この8%が10%に上がるときに、200円バスを300円バスにするか、はたまた250円にするか、やったらどうだと。そのかわり、住民さんはそうならないような手を打つ、そういう策もあるじゃないかと。どうも意見が一致しませんでした。宮津市さんも与謝野町さんも、何か渋い顔でした。ですから、なかなかその辺のところはうちだけで決められる問題じゃなくて、また2市2町、丹海さんを含めて相談させていただきます。

キャッシュレスの話なんかは、もうずっと前から出ておるんです、こういうふうにはやっていこうじゃないかと。なかなかキャッシュレスにしたときの負担分、3.5%であったり7%だったり、さまざまですけども、手数料は。その辺の分は、「ううん」というのが多いんです。その辺も含めて、またいろいろ検討させていただきます。

○議長（上辻 亨君） 7番、和田議員。

○7番（和田義清君） すみません、町長、ちょっとお聞きしたいんですけども、町長は値上げすると。宮津市、与謝野町は、なかなか値上げには消極的だというのは、まあまあ理解としては、うちは、多分利用される利用者が住民より観光客のほうが多い。向こうは多分観光客よりも住民の方が多という理由でそういう形になっておるのかなというような理解をしておるんですけども、そのあたりはどうなんでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） ちょっとその辺のところは、腹の中までは探っておりませんので、どういう状況かというのは憶測するしかないかなと。公式見解はいただいておりません。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 49ページの再生可能エネルギーの導入可能性調査事業ですが、先ほどからの質疑で、活用の調査ということで聞かせていただいたんですが、ハード面、なんのエネルギーを使うのかということまでの調査も行うんでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 調査につきましては、伊根町内でどんな再生可能エネルギーの利用ができるかということも行いますので、考えられるエネルギーとしましては、太陽光、それから風力、はたまた町が保有しています温泉熱なんかということもあたりも調査対象としていけたらなと考えております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 87ページの保育所管理運営費の15の工事請負費です。保護者の相談ス

ペースのための改修のための工事と聞いていますが、伊根保育園と本庄保育所、これを合算しての金額ですよ。それぞれにどれぐらいかかるのかを示してください。それと、これは、どこを改修するのかというのはもう決まっているのでしょうか。また決まっていたら、どこをどんなふうに改修するか教えていただけたらと思います。あと、相談スペースを利用される方は、保育所の保護者の方のみですか。保育所に行かれない人は、ぼれぼれとかそういうところで相談をしているから、保育所の方だけしか相談には行けないということで、その理解でいいのでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 内訳はすぐ調べます。対象につきましては、議員のおっしゃるとおり、未就学の方はぼれぼれのほうで、保育所に通っている人は、保育所のその相談室でということを考えております。相談室につきましては、今の施設に増築する形でそれぞれ建てたいと思っています。今積算で検討しているのは、伊根保育園につきましては、裏手に自転車小屋があるんですが、その辺にでもちょっと建てられたらというふうに考えております。本庄につきましては、遊戯室の横の辺ぐらいしかスペースがもうございませんので、そこに増築するというような形でちょっと検討しております。内訳は今すぐ調べますので、ちょっとお待ちください。

○議長（上辻 亨君） ほかにありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 89ページの保健衛生共通事務費で、骨髄ドナーの助成がありますね、14万円。これ、ちょっと前からどうかなと思って調べてみると、毎年14万円、1名分計上されているんですけども、余りこれを利用されている方はいないんですか。決算書見ても、利用の分が書いてなかったように思うんですけども。すごく大事な事業だなというふうに思うんですけども、なんで利用が余りないのかなというふうにお考えでしょうか。どうしたら利用される方がふえるかとか。

ちょっと調べてみましたら、提供者のために1日2万円とかというのを補助するというのは結構やられているみたいで、ただ、事業者のほうにも1万円ぐらいの補助を出すとかという自治体もあったりして、だから休まれたら困るから休めないというところがあって、骨髄ドナーの最初の診療というか骨髄をとりに行くのに、事業主のほうにも1万円は補助しますというところもあるみたいなんですけれども、そういうことはお考えにはなっておりませんか。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 予算計上の問題と決算が上がっているか上がっていないかというところで、利用がないのが実態でございます。予算上、利用がないのに上げているのかどうかの議論にもなるかと思いますが、もしそういった手続を申請される方があった場合、速やかに対応できるように、予算は計上しております。ただ、実際としてない。これをどのように広めていくかは、今後の課題であろうと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 先ほど山根議員さんからの質問で、工事請負費の内訳ということで、伊根保育園では470万円を見込んでおります。本庄保育所では324万円ということで工事費を見込んでおります。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようであります。これで、質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、5款労働費から8款土木費を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 農業費の予算書107ページ、農業振興補助金の交付事業で、「京の米」生産イノベーション事業で、コンバインの一部補助というふうに事前説明でお聞きしております。これは、何%補助と上限額があればお示し願いたいんですが。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） まず補助率でございますが、2分の1でございます。したがって、コンバイン1台787万円の2分の1を補助することとしております。全て京都府の補助金

でございます。また、上限額につきましては、ちょっと正確な情報を今持ち合わせておりませんが、大体1,000万円が上限になっておると覚えております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） すみません、予算書109ページで、同じく農業費の有害鳥獣対策事業についてお伺いしたいんですけども、ご説明のほうで、本年度も猿の集団捕獲と個体数調整を引き続き実施、捕獲員の報酬、餌代を計上ということでお聞きしております。檻に入って猿の捕獲をする際に、そちらの方の報酬の額についてちょっとお示し願いたいのと、現在何人登録されておまして、常時何人ぐらい、結局実質動いておられるのかというのがわかりましたらお示し願いたいんですが。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 有害捕獲ではなくて、個体数調整の檻に入った猿の捕獲だと思えます。実施隊員が捕獲する場合は、1回5,000円をお支払いしております。登録人数につきましては、今年度は17名だったと記憶しております。来年度についてはただいま募集中ですので、毎年人数は変更となります。また、その内訳につきましては、猟友会が要望される方が12名程度、役場の職員が5名、担当課課長、課長補佐含めて入りますので、大体15名から18名ぐらいで推移しているのかなと思っております。実際に活動される人数ですが、現在捕獲檻で稼働しておりますのが、泊の最終処分場のところに置いてありますので、大体実施隊員の方で出られるのはその地域の方が多いんですが、今のところ小さな捕獲檻で人数を必要としないので、また数も多くとれませんので、実際は、職員がほとんど行っているというのが実情でございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 121ページ、中小企業対策の補助金でございますが、開業支援金の制度ができてから数年経過しました。中には、事業内容が、うわさの話ですが芳しくないというような事例も耳にしております。そういったものについても、今回も前年と同じような仕組みで、スキームで開業支援事業を実施されるのか。そうではなくて、一部事業内容を見直して実施されるのか、その辺についてお伺いしたいと思います。

また、もう一点、町道改良事業費、131ページのドローンの購入でございます。これについては、議会の中でも、ドローンを導入すべきではないかという意見も複数回出させていただきました。これは、あくまで地域整備課所管のものだけに使用するという形で購入されるのか、そうではなくて、他の分野でも要請があればそのドローンを使って撮影なりをしていく予定があるのかというあたりをお伺いしたいのと、それに対する操縦者の研修等はどうされる予定なのか、安全面も含めて、説明をお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 開業支援金につきましては、今年度1名、事業の中止ということで返還になられた方もございます。商工会のほうからも、もう少し事業を見直したりしたほうがいいのじゃないかなという提案も受けておりました中で、現在商工会のほうに、審査シートというのをつくりまして、そういう中での運用ができないかという相談をしております。その中で、事業規模とか事業内容をもう少し一元化、見やすく審査しやすくなるような体制をつかった上で、商工会の審査、それから役場の審査を行った上で事業決定、それから交付決定を行っていきたくて思っております。内容については、大きな変更は行いませんが、審査体制の見直しということで進めていきたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 道路改良費で購入するドローンの活用のご質問であったと思えます。たまたま地域整備課で1台購入としておりますが、これは、課に限らず庁全体で活用ができるようでしたら幅広く活用していただきたいと考えております。たまたま道路改良費で購入しますので、説明では、災害時の確認とか河川の状況確認ということで説明をしたところでございます。また、研修につきましては、今のところ、誰が、何名、どこで研修というところまでは決めておりませんが、運用の中で、まずは地域整備課内で何名か操縦する方を決めて、そこから必要であればしていく必要があるかなと思っておりますし、また、特に例えば企画観光とか総務とか必要なところ

もあれば、そのあたりも情報共有して一緒に研修できたらなと考えております。詳しい運用については、まだ決めておりません。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 予算書123ページで、すみません、今さらながらなんですけれども、すごく基本的なことを教えてほしいんですけれども、日本で最も美しい村の負担金で50万5,000円、去年は50万6,000円でそんなに大きく変わっていないんですけれども、たしか、これ、負担金が固定の10万円とあとは人口によって変わると聞いたんですけれども、人口が減っておるんですけれども余りこれが下がっていないので、何かそういう新たな規約があるのかなというのを1つお聞きしたいのと、その下の景観形成事業で、昨年から比べたら、去年は450万5,000円、ことしは118万7,000円ということで、去年は統一看板のサイン計画と照明を使ったまちづくりなんかができればなということで450万円ついていまして、ことしは118万7,000円になっておるんですけれども、これについては、もうサイン化計画はある程度できて、あと照明を使ったまちづくりというのが、私の実感では、それはちょっとまだちゃんとできていないかなと思うんですけれども、このあたりの減額要因を教えてくださいたいんですが。

○議長（上辻 亨君） 千賀課長。

○企画観光課長（千賀和孝君） 美しい村連合の負担金につきましては、人口が実際に減ってはおりますが、1名あたり40円が積算基礎ですので、余り大きな影響がないものかと思っております。

それから、景観計画につきましては、今年度サイン計画ほか照明のまちづくりの事業委託をやっております。納品が今月末で行われるものと思っております。実際サイン計画で提案いただいた内容に基づきまして、来年度工事請負費で計上させていただいております布引の滝の案内看板については、その計画をもとに看板作成を行っていきたいというふうに思っております。伝建地区でいきなりやりますとちょっとハレーションが大きいかなと思いますので、伝建地区外でまず実際に計画に基づく看板の設置をやっていきたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、9款消防費から14款予備費を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 予算書145ページの教育総務費の学校管理運営費。全協のときでもお願いしていたんですが、こちらの設計業務のところ、31年度に工事費の調査をして、32年度に国の補助で特別室を中心に工事をするというふうにお聞きしました。特別室というのが、私は、伊根小学校なのでことばの教室のことかなと思ったんですけれども、ことばの教室だけなのか、ほかの用務員室だとかその辺も入るのかというのがまず1点と、次の147ページの小学校の教育振興費のところなんですけれども、18番の教材としてiPad購入というふうにお聞きしております。iPadを使ってプログラミング教育をするというふうにお聞きしております。プログラミング教育の内容とはどういったものかのご説明をお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） それでは、初めに小学校の設計業務の関係ですけれども、全協で説明をさせていただきましたが、伊根小学校、本庄小学校ともに特別教室というふうに説明はさせていただく中で、ことばの教室だけではなく、ほかの図書室だとか音楽室だとか、そのような教室も含めた設計業務を考えております。

それから、2点目のプログラミング教育の内容なんですけれども、平成32年度に、小学校で新学習指導要領が全面実施をされます。その中に、プログラミング教育というのが必修化をされるというふうなことでございまして、今年度もそうなんですけれども、現在移行期間というふうなことでございまして。32年度実施に向けまして、前年度であります31年度で何らかの教育に向けての取り組みを行っていかねばならないというところから、iPadを活用してプログラミング教育を実施しようというものでございまして。

プログラミング教育といえますのは、子供たちに、コンピューターに、意図した処理を行うように指示することができるということを体験させながら、将来どのような職業に就くとしても、時代を越えて普遍的に求められる力として、プログラミング的思考などを育成するというふうに、これは文科のほうから出ております。ここで、プログラミング的思考とはなんですが、自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらいいのか。記号の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのかといったことを論理的に考えていく力というふうに示されております。プログラミング教育なんですけれども、目指す、育成すべき内容がございまして、知識、技能、思考力、判断力、表現力等がございまして。これらの資質、能力を育成するプログラミング教育の単元につきましては、各学校が適切に位置づけをして実施していくというふうに求められております。実施例なんですけれども、理科だとか算数、それから総合学習なんかを考えられます。

伊根町におきましては、5、6年生がプログラミング教育に取り組むというふうに2小学校では考えられております。5、6年生がi P a dの活用をいたしまして、例えば理科の時間ですと、電気が通電する、そのようなキットなんかも教材として購入をしまして、どのような信号といえますか指示を出したらスイッチが入るとか切れるとかというのを、i P a dを使って作成していくというものです。それから、総合学習につきましては、i P a dを使って町内、校区内で調べたり、それを、i P a dを使って発表するというような、そのような使い方もいたします。

失礼しました、今先ほど総合学習、算数、理科といいましたけれども、伊根町の場合では、来年度は理科のみを実施していくというふうなことでございます。

以上でございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 149ページの20番の就学援助費です。入学準備金、確認ですけれども、これは入学前の支給になったという理解でいいんですね。それでよかったですか。文科省のほうでは、2019年から就学援助制度の充実を行うとされていまして、入学準備金の単価のほうも、小学校は4万6000円から5万6000円、中学校のほうも4万7,400円から5万7,400円に引き上げとなっています。それから、卒業アルバム等も、それを新規に補助の対象として、小学校は1万890円、中学校は8,710円を補助するとなっていますが、これは、予算のほうには上がっているのでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 就学援助費の予算ですけれども、この予算の中には、議員おっしゃられますように、新入学児童生徒学用品費は含まれた予算となっております。それで、あとのアルバム等の助成につきましては、この予算には含まれておりません。

以上でございます。

○議長（上辻 亨君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） そしたら、それはどうして含まれなかったのか。まだ予算ではっきりと決まっていないからですか。国の予算が決まっていないからということですか。

○議長（上辻 亨君） 石野教育長。

○教育長（石野 渡君） それでは、先ほどの分も含めて、和田議員からありました学校の施設は、普通教室、そして特別教育、そして体育館、そして屋外運動場というようになっております。普通教室というのは、学年、学級の分であります。学年というのは、小学校ですと1から6年生、そして特別支援学級、そして通級指導教室、ことばの教室等々のものです。中学校では、1から3年生、そして特別室、それ以外のものを特別教室と言っています。それが、全てするかというのは、順番に活用の頻度によって行っていくというようにご理解ください。

それから、補助金の場合には、教育費の無償化ということがございますので、全て学校で行っているものにつきましては予算計上するものであります。その中で、今アルバムというのが計上で、全国的には1万円だとかという金額になるのは、多分皆さんですと、高等学校の卒業のときに、分厚いきれいな、かたい冊子のものを頂戴する。中が全てプリントカラーというようになっていると思います。それが、大体私が在籍していたころは小学校で8,000円、中学校で1万円、高等学

校で1万2,000円ということになっております。ところが、今小中学校でやっているアルバムについては、自前でやっております。ですから、それが業者発注になると、その金額が上限になってくるのかなというように思うところです。

以上です。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。4番、中嶋議員。

○4番（中嶋 章君） 前回の全員協議会で、スポーツトラクターの資料を送っていただいたんですけども、再度ちょっとお尋ねするんですけども、一番適切というんですか車両として考えられるんだと思うんですけども、その経緯を、もう一つの間ではわからなかったところがあるので、再度お願いできますでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） スポーツトラクターの購入に関しての経過でございますけれども、現在といいますかこれまで所有しておりましたスポーツトラクターは、平成14年に購入いたしました。桜が丘運動公園を中心に、町内の社会体育施設、学校グラウンドの整備車両として使用してきましたが、今年9月に故障いたしまして、走行不能となったというものでございます。修理費が高額になること、長年使用しておりますことから、新車を購入するというふうな考えをもったところでございます。

スポーツトラクターの仕様につきましては、草とグラウンドの土の表面を削るという、そのような形のスポーツトラクターでございますので、新たに購入するスポーツトラクターにつきましても同等または同等以上のものというふうな考えを持ちまして、同じ作業ができる、そのようなものを導入したいということで、引き続き同じスポーツトラクターを購入するとして予算計上させていただいたところでございます。その中で、国内の業者にも同様のものがないかというようなことも調べたんですけども、スポーツトラクターとして、今申し上げました土も起こして草も除草するというのは、この車種といいますか前回購入した業者が販売をしている、そこの社というふうなことでございましたので、その業者から購入をしようとして現在考えているところでございます。ほかの業者でいきますと、芝を刈るような状態のトラクターはあるんですけども、こちらが思っております、何回も言いますけれども、土も削りながら草も抜くというその車種はこの形のスポーツトラクターしかないというふうなところで、同様な形で予算要求をさせていただいたところでございます。

以上でございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） 2点お尋ねします。147ページの同じく小学校の学校運営管理事業の機械器具で、各校に1基除雪機を購入予定というふうにお聞きしております。全協でもご説明していただいたんですけども、確認しておきたいんですが、この除雪機については、全協でもご説明していただいたとおり、学校区内だけでなく区外の通学路等でも使えるという、そういう認識でよかったのかというのがまず1点と、151ページの中学校の教育振興費の中で、14番の自動車借上げ料ということで、10万円予算をつけていただいておりますけれども、これは、災害時にスクールバスが使用できない場合の自動車借上げ料というふうにお聞きしておりますが、災害時にスクールバスが使えない状況というのは、具体的にどういった形の想定しておられるのかという2点をお聞きいたします。

○議長（上辻 亨君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 各学校への除雪機の購入につきまして、全協の中で説明申し上げました、本庄小学校のみそのようなことを考えているというふうなことで、説明をさせていただきました。他の学校につきましては、それに係るようなところを除雪するというようなことはないのかなというふうに思っております。学校敷地内の除雪に使用していただけたらなというふうに思っております。

それから、中学校費の10万円につきましては、今質問をいただきまして、私の説明が大変不十分だったなというふうに思っております。災害時というのではなくて、スクールバスがいっぱいで、使用が制限をされておってなかなか使えないと。中学校のクラブの練習試合だとか、そのように、行きたいときにスクールバスが使えないと、そういうふうな状況が発生したときには、民間のマイ

クロバスを借り上げて練習試合に行っていたかと、そういうふうなための予算計上でございました。ちょっと説明が全協のときに間違っておりましたことを、この場で訂正をさせていただきたいと思っております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 134ページ、135ページについてお伺いいたします。消防団員の報酬についてお伺いするわけなんです、団員については、本町に居住し、または勤務する者で、年齢18歳以上の者と、そういったもので、条例にはそういった規定がされております。団員の居住勤務等の実態の把握の方法、また団員の報酬は、私も先日までは消防団に所属しておりましたので、個人の口座に振り込まれるというのは、退職したときの中途のときだけのような気がします。今現在の報酬の支払いについて、分団から個人へ確実に支払いがされているのかどうか。また現在の支払い方法、それについて説明をお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 消防団の団員の団員報酬でございます。現在、団員報酬は分団のほうに一括してお支払いをしております、分団のほうで、それぞれ団員の方に配っていただいておりますというふうを考えております。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 居住勤務の実態については説明いただいておりますので、次の説明でまたお願いしたいと思うんですが、こちら、分団への振り込みについての説明でございました。消防庁の長官の通達に、消防団の報酬については、個人へ支払って下さいねというような内容の通達が出ております。一々ここで読み上げることはしませんけれども、また近隣で言うと、宮津市が個人へ直接支払う制度に変更となりました。これについて説明をお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 先ほどは、答弁が漏れておりました大変失礼いたしました。

居住の実態あるいは勤務の実態でございますが、これにつきましても、消防団のほうで把握をさせていただいております。

もう一つ、宮津市では個人支払いをしておられるよう、検討されておるといふのを今聞かせていただきまして、近隣の状況では、伊根町と同様の支払い方法だったというふうに認識しております、今ちょっとそれを聞かせていただいて、少し驚いたところでございます。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 居住、勤務実態については、実は、平成30年中に住所が移動された方について、いまだに消防団に席があるというような事例を私のほうは耳にしております。転出については、町のほうで把握できますので、関係部署とそのあたりについては調整いただいて、そういったことがないようにお願いしたい。あと、個人への支払いについて、これ、一番問題になっているのが、先日来新聞報道でも出てきております。分団へ渡すことによって、そちらのほうで使われて、個人にはわずかな金額、懇親会とかそういったものに使って、残った金額を払ったりとか、また部によっては全額没収しているところ、そういったところが見受けられるわけです。ですから、消防庁は個人へ給付して欲しいというふうに通達なり指導をしているわけなんです。ぜひ伊根町でも、そのあたり検討いただきたいというふうに思います。

消防団交付金についても、ついでですのでお伺いいたします。消防団運営交付金は、消防団の警防活動や予防活動に必要な経費として計上されておまして、予算内の範囲ということで説明をいただいております。運営交付金として、本部に25万円、分団本部に各1万円ずつの2万円、部に各1万円ずつの9万円が支給されております。なぜ本部だけこのような突出した金額になっているのか。何に必要なからこの金額になっているのか、説明をお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 運営交付金でございます。消防団関係経費の主なものは、先ほどもありましたように団員報酬や出勤手当などでございますが、そのほか資器材の維持管理に係るものなど、こういったものがございます。それらとは運営交付金は別に計上しております、団員報酬等の支出対象ではなくて、組織運営に必要なものとして計上させていただいております。

す。これにつきましては、消防団員が地域の防災力を維持するためのさまざまな入団活動でありますとか、団として活動できるような訓練を行っていく、その企画を中心となって考えていただく場合ですとか、そのほかにも、災害などでの長時間にわたる活動ですとか、それらの万一の場合に備えて、常に対応できる体制を維持し続けることが可能なように、団員同士の意思疎通を図っていただくような機会、そういったものを確保できる、そういったものを対象に交付しておるものでございます。

金額の基準は、今ご指摘ありましたとおり運営交付要綱に定めておりますが、具体的な使途、中身につきましては、それぞれ団のほうにお任せしておる状況でございます。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 団本部へ25万円入っているその内容については把握されていないということでございますので、例えばその中に、懇親会的な経費が含まれているのであれば、これは見える形にして、区長会とかと同様に食料費として新たな項目でしていただければ我々も疑問を抱かないわけなんです。ですので、そういったことを検討いただきたい。団員報酬を含め、運営交付金、その内容、程度によって、従来どおりではなく、定期にこういったものについて検証や評価をして、今後も頑張っておられる消防団のために、運営を支える交付金として、引き続き検討等をさせていただきたいというふうに思います。

また、もう一点が消防協会宮津与謝支部負担金、これについて決算書を先日いただきました。会議費が突出しております。会議は、恐らく宮津与謝消防組合のほうでされていると思うんですけども、そこで使う費用が、私が想定するのがコピー代であったりとかお茶代から、あと場所代がもしかしたらかかるのかなと思うんですけども、これについて、明確な、何に使っているんだよということがわかれば、教えていただきたいというふうに思います。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 京都府消防協会の宮津与謝支部の負担金でございますが、これにつきましては、先日提出いたしました決算書以上のことは私どもでは把握しておりません、事務局として、京都府の振興局が事務局をさせていただいておりますので、そちらのほうで管理していただいておりますので、私どもとしては、先日お渡しした資料限りでございます。

○議長（上辻 亨君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） 濱野議員さんが、運営交付金が、何か消防団が飲み食いに使っておるよに言われております。別に飲み食いに使われても構わないんです、それは。要するに、警防活動、予防活動、その上に団の円滑な運営に資するです。1年365日、昼夜を問わず、サイレンが鳴ったら行かんなんのんです。それは重圧ですよ。私は、団長をやめて物すごい楽になりました。あなたももう消防団をやめたから、寝ておられるんですよ、家で。火事になったって、台風が来たって。これに、つぶさに出ていかないかんのは大変です。そのときに、団員がけがをしないように。ひょっとしてけがで済まないこともあるんですよ、一命を落とすこともある。そういう非常事態のときに団を統率する。じゃ、団を統率するためには一体どうしたらいいのか。他団体との交流の中で団長同士でやっていかんなんのんですよ。それも、仕事を休んで行かんなんのんですよ、1日棒に振って。嫌ですよ、たかだか1,500円か2,500円もらって1日棒に振る。ましてや、たまの休みを出てきて、「一、二、一、二」、それをするまでにはまた練習が。嫌な人はいっぱいですよ。多分誰も来たくないと思いますよ。それを出てこい、意思の疎通を図って団を統一せよ。これを有事の際に完璧に動けるように持っていく、その使命なんですよ、団本部は。それにかかわる経費なんですよ、これは。私は少ないと思いますね。倍あってもいい。何もしなきゃ別ですけどもね。何もしないなら別ですよ。そういう重責を、ピラミッドの上の団幹部は担っておるわけですよ。それに対する年間25万円の費用は安い、私はそう思います。

これについては、言われるように検討させてもらいます。委員も消防委員でございますので、消防委員会のほうに提出しまして、こういうご意見があるということはお伝えしましょう。町民の皆さんにも消防団の皆さんにも、濱野議員がこう言われておりますと。25万円が高いと言われておりますと、皆さんにお示しして、消防委員会でお話させてもらいましょう。要望でございますので、いつでも変えることはできます。私は、変えるほうだったら上げるほうに変えたいと思うんですけど

れども。

以上でございます。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） やめたから、消防団を抜けたから、火災、台風のときは寝ておられると。地元の自治会で当然ながらそういったことがあれば、駆けつけて初期消火を、消火栓から引っ張ってするわけですよ。そこら辺については、認識がちょっと違うと思いますよ。

懇親の経費に充てることについては、消防庁が認められないと言っているんですよ。だから、僕が言っているのは、25万円が本部に行くのであれば、消防団の福利厚生費を上げて、トータルの金額で予算は計上しているわけなんですから、消防団員がみんなで頑張る仕組みとして、割合を変更すべきではないかと言っているんですよ。

○議長（上辻 亨君） 吉本町長。

○町長（吉本秀樹君） ですから、消防委員会でご提案ください。今ここで、どうこう要綱を変えろと言われても私も困るし、自分の見解を述べたまでです。それと、もし火事があったら、台風が来た、大変だ。身を挺して行きます。でも、団員以外の方にやられて、けがしたときは大変なんですよ。我々はそんなことを率先してお勧めするわけにはいきません。やっぱり消防団員が団員として、その使命に基づいて活動してほしい。やじ馬になれとは言いませんよ、お手伝い願えれば、願ったらいいとは思いますが。自治消防という形がありますので。じゃ、そっこのほうで活動されればいい。一私人として行かれるのは困ります。

以上です。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） 自治消防として行くというふうに私は説明が不足していましたので、それについては訂正させていただきたい。あくまで、地区の自治会の消防として行くということですので、その辺については、理解をお願いしたいと思います。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで、質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで、質疑を終わります。

休憩をいたします。11時20分に再開したいと思います。

休憩 11時06分

再開 11時21分

○議長（上辻 亨君） 再開いたします。

◎ 日程第3 議案第5号

○議長（上辻 亨君） 日程第3、議案第5号 平成31年度伊根町国民健康保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。

なお、質疑は、慣例により国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出予算を一区切り、伊根診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算一区切り、合計2区切りとして行いますので、よろしくをお願いします。

それでは、初めに国民健康保険特別会計事業勘定歳入歳出予算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。6番、大谷議員。

○6番（大谷 功君） 国民健康保険税と国保事業の京都府への納付金の関係についてお伺いします。課長から示していただいた資料の中で、納付金ですが、対前年比で1人当たり納付金の額が減っているのが、和束町と伊根町ということになっています。予算編成に当たっての資料を見せていただきますと、5番の保険税で、31年度においては各納付金額がさらに増額となっているためというふうになっているんですが、保険税の値上げと納付金の値下げの関係について、内容を説明していただければありがたいです。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） ただいまの大谷議員からの質問です。先日追加でお配りした資料

では、確かに伊根町は、京都府さんの試算によると1人あたりは下がっているという資料を私もお配りしました。どこまで行きましたも、京都府さんは、各市町村にこのように納付金全体くださいと、それを1人あたりで示しているものとか私は思っておりませんし、それ以上の説明もないわけですので、本町が減っている納付金に対してどのようにして保険税を今回決めたかというところを、もう少し予算書で説明させていただきたいと思えます。

30年度から、国民健康保険につきましては都道府県化ということになりまして、府への納付金をもとに、町で税を決めるというものであります。納付金が一体どこに載っているのかといいましたら、予算書でいいますところの188ページの3款からになってきます。それぞれ1項で医療給付費分、2項で後期高齢者支援金等分、3項で介護納付金分となってきました。ここを3つ合わせると、ほぼほぼ前年度とは変わっていない。じゃ、何をもって納付金を上げているのかといわれますと、京都府からの通知に基づいて、納付金は上げております。ですから、4月になりましたら、こういった金額の請求が来て、これを12カ月でお支払いするものになります。この数字をもとに、町独自で、被保険者数の数であったり、世帯数を、最新の数値をもとに積算して、どのようにして保険税に反映させるかというところを、今おる議員さんも運営協議会のほうに出させていただいて、慎重に審議していただいて、たくさんご意見をいただいて決定させていただいたわけでありまして。

それぞれ今度保険税として集めるには、歳入のほうになりますので180ページ、181ページをごらんいただきたいと思うのですが、一般の分と退職の分と大きく分けてありますが、それぞれに医療の分、後期高齢者の分、介護納付金の分とあります。府からも3つ示され、町でも3つ示す。では、どのように算定するかというところで、後期の分と介護の分については、府からの示されたものを逆算して行って、これだけそれぞれの分を集めれば、それぞれの納付金には対応できるという数値を導き出して、予算計上を運営協議会でも審議いただきました。最後に残った医療給付費分につきましては、据え置き。結果、後期、介護とも値上げという格好にはなりましたが、医療分は据え置きでいこう。たくさん試算する数値があると、なかなか検討も難しくなる、こちらを上げたらこちらが下がるというものの繰り返しにならうかと思えますので、求められる後期、介護は、逆算して必要な分を保険税でいただく。医療分は据え置きということにさせていただきました。

ただ、医療分の据え置きが回り回って保険事業にも影響しておりますので、結果、やはり基金からの繰り入れも行った予算編成になったんですが、確かに議員さん言われるように、京都府さんの示すものでは1人あたり減っているのではないかとはいわれますが、町としましては、歳出予算には必要な額を上げ、逆算して、保険税では後期高齢、介護は必要な分をいただくという予算要求をさせていただいておりますので、どこの資料、どの時点になるのかが定かではない中で、このような予算を編成させていただきました。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思えますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

次に、伊根診療所勘定歳入歳出予算及び本庄診療所勘定歳入歳出予算を対象として質疑を行います。質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 229ページの18で、医療用品462万円が上がっているんですけども、これは、骨密度測定器とか、なんか立位でのレントゲンの機械とお聞きしました。これはどのようなものですか。骨密度のほうですけども、これは持ち運びが可能なものなんでしょうか。どのようなものですか。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） カタログ等を確認すると、持ち運び可能なようなものには見えませんが、レントゲン室に設置が必要な機器と聞いておりますので、レントゲン室に設置で、持ち運べないものになります。

○議長（上辻 亨君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） すみません、骨密度の機械は、結構持ち運びができて、結構いろんなところで、簡易に測定できるようなものもあると思うんですけども、それだったら、老人のふれあい

サロンとかいろんな老人会とかそういうところで気軽に骨密度を測定できるかなと思うんです。このカタログは、お医者さんのほうがこれがいいというふうに決められたものだと思うんですけども、これにしたという理由みたいなものはあるんでしょうか。持ち運びができるものがないかなと素人考えでは思うんですけども、どうなんですか。

○議長（上辻 亨君） 石野課長。

○住民生活課長（石野 靖君） 本庄診療所につきましては、皆さんご承知のように宮地医院から来ていただいて、外科の専門的な医師であります。その先生からの提案でした。次に、確かに機械もいろいろございまして、調べてみましたら、機械によって診療点数から変わってくるものであるんです。それで、医師としては、より正確な検査ができ、若干診療点数は高くなるが必要な機器だと。高齢化の問題であったり、骨密度の問題は加齢とともにというところが非常に大きい問題だと思いますので、医師から希望のあった、長い間本庄診療所に勤務いただいている中で、そうそう機器の希望がない中で希望があったものでしたので、若干高額ではあるし診療報酬にも影響がありました。医師からの希望をまず第一に考えて、この機種を選定させていただいたところです。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第4 議案第6号

○議長（上辻 亨君） 日程第4、議案第6号 平成31年度伊根町簡易水道特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第5 議案第7号

○議長（上辻 亨君） 日程第5、議案第7号 平成31年度伊根町下水道事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑がないようであります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第6 議案第8号

○議長（上辻 亨君） 日程第6、議案第8号 平成31年度伊根町財産区特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。3番、長谷川議員。

○3番（長谷川貴之君） 単純な質問なんですけれども、区の会議等に出ましても財産区の話が多々出てくることがございます。先日は説明もありましたように、財源の風力発電の用地から残土処分場等の貸付料というのはわかるんですが、各財産区におきまして、関電、NTT等の貸付料というのは、電柱等の土地使用料であるのか。またそうであれば、各財産区がどれぐらいの面積で、どれぐらいのものがあるのか、ちょっと教えていただけたらありがたいです。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 各財産区の財産でございますが、今長谷川議員がご指摘いただきましたように、関電、NTT等の貸し付けと書いてございますのは、電柱や電話線柱でございます。このあたりにつきましては、財産区管理会で契約書を持っておられますので、そちらのほうでご確認もできるかと思いますが、この場で何本貸しておるのかどうかというあたりまではちょっと即答できかねますので、ちょっとお時間をいただきますようお願いいたします。

○議長（上辻 亨君） 3番、長谷川議員。

○3番（長谷川貴之君） 把握をされていないということですが、やはり交付金を出している以上、

行政としましてもその辺は把握していただくようお願いしたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 申しわけございません。資料としては保管はございますのですが、ちょっとこの場に持ち合わせておりませんでしたので、申しわけございません。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第7 議案第9号

○議長（上辻 亨君） 日程第7、議案第9号 平成31年度伊根町介護保険特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 305ページで、上から2つ目の19で、居場所づくり補助金です。これは自治会が主体になってやるということで、31年度は5カ所を見込んでいるとお聞きしました。どこですか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 現在行っておりますのが、蒲入地区、峠地区、今年度、高梨地区と菅野がちょっと始めておりまして、1件については、今後どういう展開が起きるかわからないんですけども、1件は新規を見込んでいるということで、現在のところは、ちょっとどこという地区は現在ありません。

○議長（上辻 亨君） 5番、山根議員。

○5番（山根朝子君） 自治会で、こういうふうに住場所づくりがされるのは、すごくいいなと思うんですけども、運営は、自治会だけに任せるとちょっと大変なところもあるのかなと思うんですが、役場のほうで、こういうところはサポートできるよとか、そういうふうなものというのはあるんでしょうか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 基本的に、運営は自治会ということでお願いしておりまして、町としましては、いろいろな講話とか理学療法士が運動の指導に行くとか、そういう専門職を派遣してお手伝いをしているような状況でございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第8 議案第10号

○議長（上辻 亨君） 日程第8、議案第10号 平成31年度伊根町訪問看護事業特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。7番、和田議員。

○7番（和田義清君） すみません、ちょっと基本的なことをお聞きしたいんですけども、今町内にケアマネジャーというのは何人いらっしゃるんですか。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） ちょっと資料を持ち合わせていませんのであれなんですけれども、職員については2名、あと与謝郡福祉会に3名程度だと思っておりますけれども、後日資料を調べまして正確な回答をしたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 質疑なしの声があります。これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 日程第9 議案第11号

○議長（上辻 亨君） 日程第9、議案第11号 平成31年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算を議題とし、これから質疑を行います。質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

以上で、平成31年度伊根町一般会計予算及び7特別会計予算の全ての質疑が終わりました。全てを通して何か質疑がありましたら、これを受けることにします。質疑ありませんか。2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） 大西駐車場の伊根浦の全体の駐車料金のことなんですが、私、毎日犬を連れて夜散歩をしておるんですが、ほとんどとはいいませんが、何台かの車が駐車場以外のところへとめて魚釣りを行っているというようなことがございます。最近よく目立つのは、城山海岸あたりで、土日によく多くの車が駐車して魚釣りに出ていっているのだろーと思われることがございます。この辺の車の規制をしていただいたら料金もふえるのではないかと思います。何か対策を考えられているというようなことがありましたら、お聞かせ願いたいと思います。

○議長（上辻 亨君） 鍵課長。

○総務課長（鍵 良平君） 伊根浦沿いの地区の駐車対策でございますが、先般通学路の安全対策を検討する場におきまして、宮津警察署の交通課長さんに対して、似たようなことができないかというご意見をされる方がありまして、その場で答えられておりましたのが、まず、警察としても違法駐車であれば取り締まらなければならないという認識はしておられるんですが、なかなか人的問題もありまして、全てそれに対応していくというのはなかなか困難な状況であると。例えば駐車場の入り口付近で変な駐車がされておったら、本庁の企画観光課のほうから依頼の電話をさせていただいて、うちの職員と警察官と行って、駐車場内に移すように指導させていただいておるところではあるんですが、なかなか夜間ですとか全てのところでそういったことをやっていくということができないこともありまして、今のところは、それを全てなくしていくということになかなか名案が浮かんでいないという状況でございます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。2番、佐戸議員。

○2番（佐戸仁志君） 簡易水道の会計のほうなんですが、年間1億4,000万円ぐらい。使用料が5,000万円ぐらい。1億円近い赤字が出ているわけですが、これからの見込みを教えてください。水道料金を、皆さん、下げてほしい、下げてほしいという話がありますけれども、町の財政上げざるを得ないのか、その辺の話をちょっとお聞かせ願いたい。

○議長（上辻 亨君） 白須課長。

○地域整備課長（白須 剛君） 今後の水道料金のことのご心配と思います。今年度も予算説明で説明しましたとおり、2年おきの水道、下水道使用料の審議会がありまして、そこで、今後10年後の見通しの財政の、具体的には借金をどれだけ返して、繰入金が一般会計からどれだけ要るかということで、その中で、水道料金はこれぐらいだったら何とかいけるのかなということとしております。議員は赤字とおっしゃいましたが、一応繰り入れのほうでも、総務省で、これだけだったら基準内ですよというのが認められておりまして、その基準内に、たまに数万円超えることはあるんですがほぼ収まっていますので、一応健全だとは考えております、設定上は。ということで、今後、今年も見直しがありまして、予算説明では、課の案としては、消費税が上がっても据え置きで提案はしたいなと思っております。このあたりは、まだ町長とは調整しておりませんのでわかりませんが、担当課では、当面は、逆転しない限り、繰出金が本当の赤字補填にならない限りは現状維持でいきたいと考えております。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） せんだって保育園のほうで異物混入がありまして、新聞報道もなされました。それについての対策、学校給食であっても、異物の混入がちょこちょこお電話いただい

るようでございますので、それについて、対策的なものを本予算では何か計上しているのか、全くないのか、その辺について説明を求めます。

○議長（上辻 亨君） 須川課長。

○保健福祉課長（須川清広君） 31年度の予算につきましては、編成が12月から1月にかけてでしたし、今回の事故につきましては2月の発生でしたので、今回の予算には対策費としては見込んでおりません。反省としまして、取引先についていろんな調査等を行いまして、再発防止に今取り組んでいる最中でございます。原因究明につきましても、現在のところ、仕入れルート等に調査依頼をして、調査している段階でございます。

○議長（上辻 亨君） 梅崎次長。

○教育次長（梅崎 良君） 教育委員会予算につきましては、異物混入の関係にかかわる予算は計上いたしておりません。学校給食で異物混入に係りましては、特定の学校が最近よく混入があるというふうなことで、保護者の方には大変ご迷惑、また子供さんにも大変不愉快な気分させておるといふふうに認識いたしております。その点につきましては、おわびを申し上げたいというふうに思っております。

対策につきましては、学校長がその都度給食調理員等と面談をしまして、このようなものがあつたというふうな事例を見せ、そして今後の対策につきましては、調理服の清掃だとか食器類の洗浄について細かく面談をしながら指導をして取り組んでいるというようなところでございます。

以上でございます。

○議長（上辻 亨君） 8番、濱野議員。

○8番（濱野茂樹君） これから、食の安全とかそういったものはかなり叫ばれているところであり、設備的にも老朽化している施設もあろうかと思えます。センター方式含めて検討、給食婦がいないということも毎年のように聞かれておりますので、そういったことも含めて再発防止に取り組んでいただきたいというふうに思えます。

○議長（上辻 亨君） ほかに質疑はありませんか。質疑がないようではありますが、これで質疑を終わりたいと思えますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（上辻 亨君） 異議なしと認めます。これで質疑を終わります。

◎ 散 会

○議長（上辻 亨君） 以上で、本日の日程は全部終了しました。

本日はこれで散会します。

なお、18日の本会議については休会とします。最終日3月25日は午前9時半から開催の予定で、冒頭一般質問から行いますので、よろしくお願ひします。ご苦労さまでした。

散会 11時52分

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

伊根町議会議長

署 名 議 員

署 名 議 員